

## A-1. はじめに

## A-2. 関連研究

## A-3. 提案手法

## A-4. 実験

## A-5. 結果

## A-6. まとめ

## B-1. IoTデバイスとAIを用いた課題 解決

1. 混雑度推定の有意性
2. Society5.0

## B-2. システムの工夫



## B-3. 開発体制

1. プロジェクト全体の体制
2. プロジェクト管理・コミュニケーション
3. スケジュールとマイルストーン